

平成25年度入学者選抜における中学校及び高等学校からの意見について

平成25年度前期選抜についての意見

平成25年度後期選抜についての意見

集約数	中学校	192校	(190)
	高等学校	145校	(145)

()は24年度

集約数	中学校	192校	(190)
	高等学校	145校	(145)

()は24年度

1 期待する生徒像について

	中学校		高等学校	
適当である	89.1%	(89.5%)	※1	
改善を要する	10.9%	(10.5%)		

[中学校]

- ・必要ない。選抜評価方法で十分である。
- ・具体性がなく、生徒や保護者にとってわかりにくい表現や内容が多い。(例えば、「具備する」等)
- ・無難な書き方で、進路指導の参考にならない。
- ・全体的に抽象的ではあるが、高校の意思を伝える部分としては必要である。
- ・部活動を優先するのか等、はっきり明記してほしい。

※1 高等学校には回答を求めている項目である。

2 出願手続等について

	中学校		高等学校	
適当である	63.0%	(55.3%)	73.1%	(75.9%)
改善を要する	37.0%	(44.7%)	26.9%	(24.1%)

[中学校]

- ・出願日は土・日曜日をはさまないでほしい。
- ・学校独自で行う検査に必要な書類(自己表現希望票等)の様式、配付、手続き等が各学校で異なり、大変複雑である。県で実施一覧表及び統一様式をつくってほしい。
- ・学校独自で行う検査に必要な書類(自己表現希望票等)の様式をホームページにアップしてほしい。当日に受検者に書かせるのはやめてほしい。
- ・出願時に長時間(4時間以上)待たされ、体調を崩した受検生もいた。受付窓口を増やす等の一層の対策を望む。
- ・願書に校長の職印が必要か検討をお願いしたい。(出願は本人と保護者の責任である。)
- ・入学検査料は振り込みにしてほしい。

[高等学校]

- ・受付業務を簡素化し負担を軽減してほしい。(郵送を認めてほしい。)
- ・受付は1日半でよい。(2日目の午後はほとんど来ない。)
- ・受付締切後の事務処理を考え、締切りを午後4時にすべきた。
- ・定時制の出願の時間について、勤労者の受検生や勤務時間を考慮し、改善を望む。(午後、夜間対応等)
- ・出願の日程が土・日曜日をはさむのは不適當である。
- ・不合格者に校長承認書類を返却する必要はない。
- ・校長承認に関わる書類のうち、「事情説明書」と「身元引受人承諾書」を実施要項の様式に入れてほしい。

3 志願理由書・調査書の様式について

	中学校		高等学校	
適当である	69.8%	(67.4%)	82.1%	(79.3%)
改善を要する	30.2%	(32.6%)	17.9%	(20.7%)

[中学校]

- ・志願理由書の評価の仕方が明らかでないで、必要ない。
- ・志願理由書を軽視している高校が多いので、必要な学校のみ提出にしてほしい。
- ・志願理由書を書かせるのは受検生に負担である。
- ・志願理由書の「志願理由」と「自己PR」は内容が重なるので、一つの枠にしてほしい。(簡略化してほしい。)
- ・現在のような記述内容であれば、調査書の総合所見欄は必要ない。東京都の様式が望ましい。
- ・調査書の総合所見の記入の簡略化をしてほしい。特に問題がなければ「特になし」と記入してもよいのでは。
- ・部活動の記録、評価など、どの程度記入したらよいかわからない。
- ・調査書に遅刻、早退も記入するようにしてほしい。
- ・選択教科の教科欄は不要である。

[高等学校]

- ・特色化選抜ではないのだから志願理由書は不要である。
- ・志願理由書の提出については、各学校の裁量に任せたらどうか。
- ・調査書の部活動の記載について、大会等の記載のし方を統一してほしい。
- ・自己PRを書かせることに疑問を感じる。

1 期待する生徒像について

※ 後期については、該当しないため回答を求めず。

2 出願手続等について

	中学校		高等学校	
適当である	56.8%	(53.2%)	66.9%	(66.9%)
改善を要する	43.2%	(46.8%)	33.1%	(33.1%)

[中学校]

- ・前期選抜の結果発表から後期出願までの期間が短すぎ、生徒や保護者が考える余裕がなく、教員が相談にのる時間がない。志願変更を前提に慌てて出願する生徒が増えている。
- ・2日目の出願時間を午後4時までにしてほしい。
- ・志願変更まで期間が短く、かつ、休日明けなので、教員が十分に相談にのれない。志願変更は火曜日からにしてほしい。
- ・出願時に長時間待たされた高校があった。
- ・同一高校を受検する場合、調査書や自己申告書の提出は必要ないのではないか。

[高等学校]

- ・前期選抜と後期選抜の日程が近すぎて、願書の記入ミスや記入漏れが多い。また、他県から受検を考えている志願者が出願できなかった。もう少し間を空けてほしい。
- ・日程に余裕がない。特に志願変更の締切日から検査日までが短い。
- ・出願期間と志願変更期間に土・日曜日をはさんだのは、受検生が中学校と相談する時間や事務処理の時間を考えると不適當である。
- ・志願変更は不要である。
- ・出願の郵送を認めてほしい。
- ・定時制の出願受付時間の再考(午後、夜間等)をお願いしたい。

3 調査書等の様式について

	中学校		高等学校	
適当である	92.2%	(95.3%)	※2	
改善を要する	7.8%	(4.7%)		

[中学校]

- ・特別活動の学年を統一してほしい。(3学年にするなど)
- ・願書の学籍の証明欄は調査書へ。
- ・選択教科の教科欄不要。
- ・算式不要。
- ・調査書に遅刻、早退も記入してほしい。

※2 高等学校には回答を求めている項目である。

前期選抜

後期選抜

4 検査の日程について

	中学校		高等学校	
適当である	58.3%	(65.3%)	18.6%	(53.1%)
改善を要する	41.7%	(34.7%)	81.4%	(46.9%)

[中学校]

- ・非常時の連絡が困難であるので、休日明けではなく平日の次の日に検査日を設定してほしい。
- ・前期不合格の生徒や保護者に十分な指導ができず、また、生徒、保護者、教員の負担が大きいので、前期の発表日と後期の出願日との間をもう少し開けてほしい。(前期選抜の日程を早めてほしい。)
- ・前期選抜の日程が早すぎる。
- ・前期選抜の合格発表をインターネットでできないか。
- ・5教科の検査を2日に分けてほしい。
- ・受検者側に立って、高専、自衛隊入試と公立の日程調整を切望する。

[高等学校]

- ・検査日の前日に3日間休日が入ってしまったのは、検査の準備、受検生との緊急連絡や在校生の活動等に支障をきたすとともに、セキュリティ上問題が多い。
- ・前期選抜と後期選抜の期間が短く、また、出願日から発表日までの期間が短いため、採点業務等の業務が煩雑になりミスが生じやすい。
- ・前後期選抜ともに学力検査が実施されるため、採点業務等の関係で、授業時間や学校行事、3年生の学年末成績処理等に支障が出ている。
- ・選抜日程を早めてほしい。
- ・受検生にとって1日で5教科の学力検査は負担である。2日間で5教科の検査(第1日目3教科、第2日目2教科と学校独自検査)を行うのがよいのではないか。

5 検査の内容について

	中学校		高等学校	
適当である	63.5%	(70.5%)	※3	
			59.3%	(62.8%) 第1日
			77.2%	(78.6%) 第2日
改善を要する	36.5%	(29.5%)	※3	
			40.7%	(37.2%) 第1日
			22.8%	(21.4%) 第2日

※3 高校は日ごとに分けて回答を求めたものである。

[中学校]

- ・学力検査が難しい。どの程度の学力を要求しているのかわからない。もっと基礎・基本を出題してほしい。
- ・自己表現、適性検査など、第2日目の検査の評価の観点、基準、内容等がわかりにくい。
- ・5教科と面接のみでよいのではないか。
- ・面接ではなく、作文や小論文を書かせて適性を判断した方がよい。
- ・第2日目の負担が大きすぎる。特に、学習や面接で受ける生徒には負担が大きい。
- ・自己表現について、実技と口頭になっているが不公平感がある。部活動をやっていて高校でも継続する方が有利である。
- ・第2日目の検査で救われている生徒もいるので、今まで通り残してほしい。
- ・第2日目の検査の待ち時間が長い。また、学校によって内容や時間差が大きすぎる。

[高等学校]

(第1日の検査)

- ・5教科の検査を行う順番を、採点等を考慮して変更してほしい。
- ・1日5教科で実施するなら1教科40分とするべきだ。
- ・問題冊子のA版は大きすぎる。
- ・問題冊子の中に解答用紙を入れる形式は大変よいが、用紙のサイズや色の識別等の配慮を望む。
- ・問題が難しく、最後まで解けない受検生もいた。受検生のやる気をそいでしまうのではないか。
- ・採点が難しく時間がかかる。効率的、客観的に採点ができる問題を作成してほしい。
- ・問題の難易度を分けて、学校で選択できるようにしてほしい。

(第2日の検査)

- ・午前に2教科を実施(第1日目に3教科を実施)し、午後に面接等学校独自の検査としてはどうか。
- ・学校独自検査を廃止するか、学校裁量としてほしい。

4 検査の日程について

	中学校		高等学校	
適当である	81.3%	(66.8%)	41.4%	(34.5%)
改善を要する	18.7%	(33.2%)	58.6%	(65.5%)

[中学校]

- ・全体的に日程が厳しいと思う。
- ・生徒の負担を考えると、前期選抜と同様の日程で2日間で行ってほしい。
- ・現行の前期後期選抜制で、日程等の改善を考えた方がよい。
- ・高専推薦、学検の後に公立後期選抜の出願の動きになると混乱は少ないと思う。

[高等学校]

- ・3月上旬の実施は高校側の行事や授業に影響が出やすい。2月中の実施が望ましい。
- ・移動時間や各検査の間の休み時間が短く、受検生はトイレなどの時間の余裕がない。前期選抜と同じ時程にしてほしい。
- ・CDによる放送確認と受付点呼の時間について再考願いたい。
- ・学力検査5教科と独自検査を1日で行うのは日程的に無理があり、受検生にとっては負担である。前期選抜と同様に検査を2日間を実施すべきだ。
- ・国数英の3教科のみか、3教科と学校独自検査のどちらかでよい。高校で検査内容を選択させてほしい。

5 検査の内容について

	中学校		高等学校	
適当である	83.3%	(75.3%)	67.6%	(64.8%)
改善を要する	16.7%	(24.7%)	32.4%	(35.2%)

[中学校]

- ・1教科40分の検査としては問題数が多い。最後までたどり着けない生徒の本当の学力は問えない。50分で行ってほしい。
- ・前期選抜と後期選抜の学力検査の問題に難易度の差が結構あるように感じた。同じレベルにしてほしい。
- ・すべての学校で面接を実施してほしい。
- ・学力検査以外はやらない。
- ・学力検査が40分で、後期選抜が軽視されているように感じる。

[高等学校]

- ・40分の検査としては問題数が多く、じっくり考える時間がない。1教科50分にしてほしい。
- ・問題が困難校を想定していない。学力が低い生徒でも得点できる配慮がほしい。
- ・30分で50点の問題でよい。
- ・40分の検査時間で、「聞き取り」、「リスニング」を課す必要があるのか。
- ・学校独自の検査は不要である。
- ・前期選抜の検査問題と比べて、難易度があまりにも違いすぎる。
- ・問題冊子の中に解答用紙を入れるのは大変よい。
- ・解答用紙のサイズや色の識別等の配慮を望む。

前期選抜

後期選抜

6 その他全般について

	中学校		高等学校	
適当である	50.5%	(48.9%)	29.0%	(33.8%)
改善を要する	49.5%	(51.1%)	71.0%	(66.2%)

[中学校]

- ・公立高校入試は1回でよい。
- ・発表は直接本人に通知し、「中学の校長を通す」必要はない。教員が各高校に書類を受領しに行くのは非常に負担である。
- ・入学確約書の提出の期間を延ばしてほしい。期間が短いため、発表日に生徒全員に入学確約書を持たせなければならず、この状況はおかしい。(不合格になっている生徒にも持たせている。)
- ・入学確約書の提出方法を統一してほしい。学校によって、合格発表後その場で提出できる学校と、1度中学校に戻らせて提出させる学校がある。
- ・入学確約書は保護者印のみでよい。中学校職印は不要である。
- ・出願時に入学確約書と同内容の書類を提出させるか、願書にその項目を記載してほしい。
- ・願書が他県に比べて複雑である。
- ・願書の学籍の欄は調査書に移す。(不要である。)
- ・前期の定員が多すぎるので、見直しをお願いしたい。
- ・高専学力検査との兼ね合いで、公立前期選抜を受検するケースが多く発生し、対応判断に苦慮した。進連協等の対応も各地区で不統一な状況が生まれるなど混乱した。

[高等学校]

- ・現在の入試日程では、在校生の授業が確保できず十分な指導ができない。学校行事にも支障がある。加えて受検生にとって負担が大きい。また、業務が煩雑となるため、入学者選抜は1回にすべきだ。
- ・選抜結果の学校別通知は、特色化選抜の時のものであり、現行では不要である。高校では、志願者個人への通知と両方作成しており、著しく業務が増え煩雑である。中学校も大きな負担となっており、また、他都道府県の中学校にはこのシステムはまったく理解されていない。
- ・聞き取り検査・リスニング検査について、検査当日の放送点検やそれに伴い受検生が控室等に入れられない等問題が多い。実施及び放送設備の確認を含めた実施方法について改善を望む。
- ・マークシート方式にするなど、業務の軽減を図ってほしい。
- ・前期後期選抜制を続けるなら、普通科は前期予定人員を80%まで、専門学科は100%まで、3部制の定時制の課程も100%まで認めてほしい。
- ・選抜結果の通知に伴う文書等の交付は簡素化すべきである。

6 その他全般について

	中学校		高等学校	
適当である	68.8%	(58.4%)	28.3%	(33.8%)
改善を要する	31.2%	(41.6%)	71.7%	(66.2%)

[中学校]

- ・前期選抜で半数以上が決まってしまう、後期受検者の精神的な負担が大きい。入試は1回でよい。
- ・前期選抜と後期選抜の募集人員の割合に疑問がある。後期選抜の人員が少なすぎて、二次募集の感を否めない。後期選抜受検者の劣等感が募る。後期選抜を多くすべきである。
- ・後期選抜発表時に生徒や中学校に文書を渡す高校とそうでない高校があり、また、渡す相手も生徒や中学校長だったり、統一されていない。
- ・発表当日に書類を渡している学校が増えている中、返信用封筒での郵送もあり、わかりづらい。当日に全高校で渡してほしい。また、配付物の内容を中学校に知らせてほしい。
- ・後期選抜の発表の時、前期選抜合格者が行く必要があるのか。入学確約書を提出しているのだから確認に行く必要はない。
- ・願書の入学や転入学の日を記入する欄は必要はない。調査書や要録抄本にも記載されておらず、照合の方法もない。
- ・学力検査の点数も大切であるが、中学3年間の評定や人物(努力やリーダー性など)をもっと重視してほしい。
- ・高校の入学説明会と中学校の卒業式が同じ日になることが多かった。日程について検討してほしい。また、入学者説明会の日程を中学校に知らせてほしい。

[高等学校]

- ・同じ形式内容の学力検査を2回やる必要があるのか。入学者選抜は1回にすべきだ。
- ・学力検査を1回にして、その持ち点で後期選抜は出願してはどうか。
- ・学力検査の口頭開示の方法を簡略化(受検票提示のみも可)、期間についても短くしてほしい。
- ・定時制の春季休業中の口頭開示時間を全日制と合わせてほしい。
- ・Eメール報告や各報告文書の提出期限・内容等を再検討してほしい。
- ・マークシート方式で対応できないか。
- ・定時制の課程では2次募集と追加募集を1本化してほしい。
- ・「志願取消届」「志願取消願」の名称が紛らわしく、受検生が間違っ持参した。後者を(後期選抜用)と追記すればよい。

